

HVR-Z1J (プロフェッショナルモデル)と HDR-FX1 (民生モデル) 機能比較表 1/5

機 能	HVR-Z1J	HDR-FX1	説 明
●撮影機能			
カラーコレクション	○	×	撮影時の画面内の特定の色を指定し、その色だけを残したり、補正(※)したりする機能。色は同時に2色まで指定可能です。被写体の印象を変えて撮影したい場合や、指定色だけを残したインパクトある映像を撮影することが可能です。 ※指定色の赤レベルと青レベルを増減させます。
WB屋外レベル調整	○ (±7)	×	ホワイトバランスを「屋外」に設定している場合、プリセット値(約5800K)を中心に±7段階(約500K単位)で上下に調整することが可能です。意図的に映像の色温度を変えたり、複数台のZ1Jのホワイトバランスを統一する際に有効な機能です。
ブラックストレッチ	○ (ON/OFF)	×	暗部のレベルを持ち上げ、暗い部分に階調を出すことができます。全体的に深い色の映像でも、黒つぶれを防ぎ、奥行き感を持たせることができます。シネマトーンガンマとの組み合わせ使用も可能です。
シネマトーンガンマ	タイプ1/タイプ2/OFF	ON/OFF	フィルム映画のような映像トーンを作り出すシネマトーンガンマ設定において、FX1ではON(=タイプ1)/OFFからの選択ですが、Z1Jではそれに加え、より深い黒の表現を可能とするタイプ2が選べます。さらにブラックストレッチのON/OFFとの組み合わせで、6つのガンマカーブパターンが使用できます。
スキントーンレベル	○	×	肌を滑らかに見せるスキントーンディテールのレベル調整が可能です。
アサインボタン数	6個	3個	ハイパーゲインや、簡易全画面表示、AEオーバーライドなどプロモデルならではの機能をアサインボタンに割り当て、必要な時に瞬時に呼び出すことが可能です。
アサイン機能数	15項目	6項目	Z1Jは、FX1の「レックビュー」「逆光補正」「スポットライト」の各ボタンの機能も含む、15の機能から割り当て可能です。

■Z1Jに追加されたアサイン機能

▪ハイパーゲイン	○	×	約+36dBのゲインアップにより、照度が足りない場所でも明るく、カラーで撮影ができます(※)。映像ノイズが増えますが、夕闇の中での野生動物の撮影など、照明が使用できない環境で活用できる機能です。 ※赤外線撮影ではありませんので、極端に暗い場所での撮影はできません。
▪AEオーバーライド	○	×	AE撮影時のAE値をアイリスダイヤルを用いて増減可能なため、素早く明るさを変えることが可能です。ピクチャープロファイルの「AEシフト」と同じ効果ですが、メニュー画面を呼び出さずにダイヤルで直接操作できます。
▪簡易全画面表示	○	×	テレビ画面では映らない領域を含む全画面を、撮影前に確認できます(※)。全画面が映し出されるPC再生向けコンテンツの撮影などで有効です。 ※HDV記録モード時のみ使用可能です。

HVR-Z1J (プロフェッショナルモデル)と HDR-FX1 (民生モデル) 機能比較表 2/5

機 能	HVR-Z1J	HDR-FX1	説 明
■ Z1Jに追加されたアサイン機能(続き)			
・WB屋外レベル(+)	○	×	WB屋外レベル調整(前述)を、メニュー画面に入らずにボタン操作だけで使用することができます。
・WB屋外レベル(-)	○	×	
・マーカー	○	×	メニュー設定した各種マーカー(センター/セーフティゾーン/4:3)表示のON/OFFがボタン操作だけで行えます。必要な時だけマーカーを表示する、というオペレーションが可能です。
● 撮影機能(続き)			
ズーム数値表示	○	×	ズーム位置の表示タイプをズームバー表示または、数値表示(Z00~Z99)から選択可能です。ズーム位置を再度合わせる場合などに活用できる機能です。
AFアシスト	○	×	オートフォーカス(AF)中でも、フォーカススイッチを手動側に切り替えることなく、フォーカスリング操作で焦点を調整することが可能です(※)。意図しない場所にAFが合ってしまったとき、素早く調整することができます。※AFのためフォーカス位置が元に戻る場合があります。
拡大フォーカスマニュアルオフ	○	×	拡大フォーカス状態から通常状態への切り替え方を、フォーカスリング操作後に自動的に切り替わるか、もう一度拡大フォーカスボタンを押して切り替えるかを選択できます。
セーフティゾーンマーカー表示	○	×	受像機の表示性能によらず映し出すことができる映像範囲の目安をLCD/VFに表示します。
4:3 マーカー表示	○	×	エッジクロップダウンコンバート時に切り出される4:3エリアを示すマーカーをLCD/VFに表示します。4:3画角も考慮しながらHDV撮影が行えます。
パネル・VF同時点灯	○	×	LCDパネルとビューファインダーの同時点灯が可能です。VFでフォーカス合わせを行い、LCDパネルで明るさや画角の確認を行うといったオペレーションが可能です。
VFモノクロ表示	○	×	ビューファインダー(VF)はカラー表示のほか、フォーカス合わせを行いやすいモノクロ表示も可能です。
ピーキング色選択	○ (白/赤/黄)	×	被写体の輪郭を強調して表示する「ピーキング」の表示色を「白・赤・黄」から選択可能です。白っぽい被写体に赤のピーキング表示をすれば、ピーキング表示が見やすくなります。
ピーキングレベル	○ (H/M/L)	×	輪郭のレベルを選択可能です。

HVR-Z1J (プロフェッショナルモデル)と HDR-FX1 (民生モデル) 機能比較表 3/5

機 能	HVR-Z1J	HDR-FX1	説 明
●撮影機能(続き)			
カラーバー	2種類	1種類	4:3カラーバーと、16:9カラーバーから選択できます。
全画面OFF	○	×	手ぶれ補正などの機能アイコンやパラメーター表示も、Displayボタン操作により全てOFFにすることができます(記録や再生の動作を示す表示は消えません)。
ショットランジション スタートタイマー	○ (5/10/20秒)	×	ショットランジションの実行指示から、実際に動作が開始するまでの時間を遅らせることができます。実行ボタン操作によるカメラ振動の影響を回避することができます。また、例えば10秒間台詞を喋った後にランジションが開始される、といった使い方も可能です。
クイック録画	○	×	スタンバイ状態が3分以上続くと、テープとヘッド保護のためスタンバイ状態が解除されドラムが停止します。その状態で記録操作をした場合の、テープへの記録が開始されるまでの時間を短縮する機能です(約6秒⇒約2秒)。映像のつなぎ目が乱れることがあります。撮り逃しを少なくすることができます。
外部 RECコントロール	○	×	i.LINK接続された外部レコーダー(※)を映像音声データのバックアップ機器として制御できます。バックアップ機器の動作をZ1Jの記録・停止動作と連動させることが可能です。また、Z1J内のテープが終点近くになるとバックアップ機器の記録が開始される「リレー録画」の選択も可能です。※Z1Jの出力フォーマット(HDVまたはDV)とi.LINK制御に対応した機器。
■音声収録			
音声モニターCH選択	○	×	収録中、もしくは再生中にモニターするチャンネルを、「CH1のみ」「CH2のみ」「CH1・CH2ステレオ」「CH1+CH2 Mix」から選択可能です。
AGC非連動/連動設定	○	×	AGC(Auto Gain Control)による音声レベルの自動調整を、CH1・CH2のレベルの相対関係を維持したまま効かせることが出来ます。
オーディオレベル独立調整	○	×	FX1は入力音声レベルの調整がステレオ連動ですが、Z1JはCH1とCH2それぞれ独立でレベル調整が可能です。
ノイズリダクション ON/OFF	○	×	ノイズリダクションをOFFにすることができます。外部ソフトウェアなどを使ってノイズリダクションを行いたい場合に有効です。
風音低減設定	内蔵/外部マイク 個別	内蔵/外部マイク 連動	風音低減のON/OFF設定を、内部・外部マイクそれぞれに設定することができます。マイクを切り替えたときに、風音低減の設定を改めて行う必要がありません。
リミッター ON/OFF	○	×	音声レベルのマニュアル調整時において、リミッターをOFFにし、最大レベルで記録することが可能です。

HVR-Z1J (プロフェッショナルモデル)と HDR-FX1 (民生モデル) 機能比較表 4/5

機 能	HVR-Z1J	HDR-FX1	説 明
■音声収録(続き)			
内蔵マイク感度選択	○	×	Z1Jは内蔵マイク感度を上げて記録をすることができます(大音量の場合ひずむ時がありますので、事前にテストしてからご使用ください)。
外部音声入力端子	XLRコネクター (2CH)	ステレオミニ ジャック	ECM-678などのバランス型マイクを使用することが可能です。安定した音声収録が可能です。
マイク電源供給	ファンタム電源	プラグインパワー	外部マイクに約+40Vの電源を供給することができます。
DV記録オーディオロックモード	○	×	DV(SP)記録時に、映像と音のサンプリングをロックすることが可能です。オーディオ編集時のデジタル処理やスムーズなつなぎ目を作るときに有利です。
■システム			
エッジクロップ ダウンコンバート出力	○	×	HDVからのダウンコンバートタイプは、レターボックス・スクイーズに加え、画面中心を基準とした4:3切り出しの「エッジクロップ」出力も可能です。4:3モニターで視聴するコンテンツの制作に適しています。
480/60p (576/50p) コンポーネント出力	○	×	HDVからのダウンコンバートで、アナログコンポーネントはプログレッシブ出力が可能です。
DVダウンコンバート ロックモード	○	×	HDVからのダウンコンバートDV出力の、オーディオロック/アンロックの選択ができます。
60i/50i切替	○	×	フィールド周波数を60i(59.94Hzインターレース・NTSC)と50i(50Hzインターレース・PAL)に切り替えられます。海外メンバーとの機材共有などを行うことが可能です。 ※相互に変換する機能はありません。
DV LP記録再生	×	○	Z1Jは、DV(LP)記録・再生は対応していません。
DVCAM記録再生	○	×	DVCAM記録再生が可能です。小型DVCAMカムコーダーのハイエンドモデルとしても利用可能です。
セットアップレベル	○	×	DVCAM、DV記録モード時に、セットアップレベルを0%または7.5%から選択が可能です。

HVR-Z1J (プロフェッショナルモデル)と HDR-FX1 (民生モデル) 機能比較表 5/5

機能	HVR-Z1J	HDR-FX1	説明
■システム(続き)			
日付記録	○	×	映像に日付・時刻を直接記録することが出来ます。(スーパーインポーズ状態で記録されるので、一度記録された文字は消せません)
アワーズメーター	○	×	トータル通電時間・ドラム回転時間・テープ走行時間・スレディング回数を確認できます。メンテナンス時の目安となります。
タイムコードサポート	○	×	タイムコードプリセット、DF/NDF、REC RUN/FREE RUN設定など、撮影時のタイムコードの各種設定が可能です。素材に唯一のタイムコードを持たせることができ、素材管理や編集が効率化されます。FX1はテープ挿入時をゼロとしたDFタイムコードのみ記録が可能です。
・TCプリセット	○	×	任意の値でのタイムコードを設定することができます。
・UBプリセット	○	×	16進数8桁までの情報をテープに記録できます。
・TCフォーマット	○ (DF/NDF)	×	タイムコードの方式をDF(ドロップフレーム)/NDF(ノンドロップフレーム)から選択可能です。
・TC動作	○ (REC RUN/FREE RUN)	×	タイムコードの進み方を、記録時のみ進む“REC RUN”、常時進む“FREE RUN”から選択可能です。
・TCメイク	○ (REGENERATE/PRESET)	×	既に記録されているTCに続けるか、新たに設定したTCで記録するかを選択できます。
・UB時刻記録	○	×	時刻をユーザービットとして記録できます。
・TCリセット	○ (付属リモコン使用)	×	リモコンを使ってタイムコードをゼロリセットすることができます。複数台のZ1JのTCをFREE RUNに設定し、一斉にリモコンでリセットすれば(※)、おおよそ同じTCで記録することが可能です。※リモコンからの送信信号を同時に受信させる必要があります。